

# ☆戦後75年日本の足跡・これからの足跡

## 戦後75年に出てきた「敵基地攻撃」という言葉

◆今月4日、自民党国防部会は、イージス・アショアを諦める代わりに「敵基地攻撃能力を持つ」という提言を安倍首相に提出しました。

◆先の戦争を知らない人には普通の情報かもしれませんが、あの悲惨な戦争を知っている、いまの憲法がある事を知っている人にとつては、信じられないような情報です。

## 平和憲法を作った時の吉田首相の言葉

◆「戦争放棄に関する憲法草案の条項におきまして、国家正当防衛権による戦争は正当なりとせられるようであるが、私はかくの如きを認める事が有害であると思うのであります（拍手）。近年の戦争の多くは国家防衛の名において行われたることは顕著なる事実であります」

◆これは一九四六年六月憲法制定の国会で当時の吉田茂首相が第9条戦争放棄に関する質問に答えた速記録です。このように吉田首相は、自衛のための戦争も、自衛のための軍備もはつきり否定していました。

◆何故ここまで言ったのかというと、戦争というものはみな「自衛のための戦争だ」という名目で始められる、それが歴史というものだを見ていたからです。

## その後の足跡は平和憲法否定の歴史

◆それが一九五〇年の朝鮮戦争を機に、五四年、自衛隊の前身となる「警察予備隊」を持つに至りました。ここから日本の足取りがおかしくなります。

◆当時言われたのはこれは「専守防衛」の装備であるという事でした。しかし、二〇〇六年成立した安倍政権の歴史は、これをがらりと変え「攻められていなくても攻撃する自衛隊」へ変身させる平和憲法否定の歴史でした。

◆その手順は「教育基本法」改訂、「秘密保護法」制定、集団的自衛権を認める「新安保法制」の制定、そして今は「敵基地攻撃能力の保持」を狙っています。

## 後世に「平和へ向かう足跡」を残そう

◆世界には軍隊を持たない国が二七あります。コストリカがその代表ですが、これらの国がひねり潰されたという事を聞いた事ありません。このうち、憲法に「軍隊を持たない」と書いてある国が四つあります（コストリカ、パナマなど）。

◆憲法に軍隊を持たないと書いてあるのに実際に軍隊を持っている世界で唯一の国は日本です。もう偽りはやめて、これからは「平和へ向かう足跡を残そう」ではありませんか。

二〇二〇年八月九日（日）護憲平和行進（通算642回目）  
★浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五  
★月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合



憲法第九條  
〔戦争の放棄〕

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。他の戦力は、これを保持しない。前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。